

学校プールについて

1 プール授業の実施状況について

- ①中学校 1 回 1 時限で実施（年間 10 時限程度）
- ②小学校 1 回 2 時限で実施（年間 10 時限程度）

2 学校プール施設の設置状況について

- ①屋内温水プール …第四中
 - ②屋外プール（屋根なし）…第四中を除く 17 校
- ※第一期計画に基づき改築中の第五小・井之頭小は屋外プール（シェード屋根付き）を設置予定

3 学校プール検討事項について

- ①近年の酷暑対応
 - ②稼働期間が限られるため学校プールの設置可否
- ※次期学習指導要領には、水泳指導は残る予定

4 プール授業の実施時期と、今後実施時期を変更できるかについて

現状、6 月の下旬ぐらいから 7 月にかけて水泳指導を実施。

実施時期の変更について、例年、5 月に運動会を予定している小学校が数校、6 月に予定している学校が全校。また、6 月にはセカンド・プレセカンドに行く学校が 3～4 校、日光移動教室が小学校全校となる。

秋は、9 月はセカンド・プレセカンドを予定している学校が大多数、10 月に運動会を予定している学校が数校となっている。現状は、9 月の中旬なら気候的にプールに入れると思うが、学校行事が多く、事実上難しい状況である。

5 審議会資料（第3章たたき台 P10）

第一期計画の記載をそのまま掲載。学校プールについては、近年の酷暑影響や他自治体の状況も参考にしながら、様々な方策を確認した上、第二期計画で方向性を定める。

6 可能性のある各方策の比較（60年間コスト、メリット・デメリット）

①自校設置（屋外プール＋シェード（6～9月利用想定））

- ・費用…1校8.77億円（イニシャル5.12億＋ランニング3.65億）（最新見積もり）
- ・メリット…自校でプール授業を実施できる。

自校プール設置する場合には最も安価な方法。

- ・デメリット…シェードがあるとはいえ酷暑の中で屋外授業。シェードの開閉作業。
シェードの耐用年数が7～10年程度のため、定期的な修繕が必要。

②自校設置（屋内プール・簡易温水（6～10月利用想定））

- ・費用…1校17.42億円（イニシャル8.57億＋ランニング8.85億）（最新見積もり）
- ・メリット…自校でプール授業を実施できる。天候に左右されずに授業を実施できる。
- ・デメリット…費用が高額。簡易温水のため気温が低い時期は実施できない。

③拠点校設置（屋内プール・簡易温水（6～10月利用想定））

- ・費用…拠点校プール設置費1校17.42億円＋バス委託料
- ・メリット…天候に左右されずに授業を実施できる。
- ・デメリット…利用校で日程調整必要。受入れ校に負担。移動時間がかかるため授業時間が削られる。バス運行业者が確保困難。

④拠点校設置＋地域開放プール（屋内プール・温水（通年））

- ・費用…拠点校プール設置費1校32.66億円（イニシャル11.37億＋ランニング21.29億）（最新見積もり）＋バス委託料＋（管理委託料）
- ・メリット…天候に左右されずに授業を実施できる。温水プールなので通年利用できる。
地域開放と合わせて施設管理を委託する場合、施設、水質等の管理がなくなり教員の負担減につながる。
- ・デメリット…費用が非常に高額。利用校で日程調整必要。受入れ校に負担。移動時間がかかるため授業時間が削られる。バス運行业者が確保困難。

⑤市営プール（市営プール＋バス移動）

- ・費用…バス委託料＋管理委託料
- ・メリット…天候に左右されずに授業を実施できる。市営プールを利用するため民間プールと比較すると費用が抑えられる。施設、水質等の管理がなくなり教員の負担減につながる。
- ・デメリット…市民プールに対する負担がかかる。学校授業と市民利用を同じ時間で実施することが難しいため、学校授業にかかる時間中、市民利用が制限される。
移動時間がかかるため授業時間が削られる。バス運行业者が確保困難。

⑥民間委託（民間プール＋バス移動）

- ・費用…施設利用料（＋指導委託料）＋バス委託料
- ・メリット…天候に左右されずに授業を実施できる。施設、水質等の管理がなくなり教員の負担減につながる。指導補助員にインストラクターが入り泳力向上につながる。
- ・デメリット…委託料がかかる。移動時間がかかるため授業時間が削られる。冬場など髪が濡れたまま移動。プール業者の撤退等リスクがある。バス運行業者が困難。引率中学校が手薄になる。プールが空いている時間枠が少ない。

●他自治体調査（26市ヒアリング）

- ・全校で外部化（民間・公営プール委託）…3自治体
- ・一部学校で外部化…民間（10自治体）、公営（4自治体）、拠点校（2自治体）重複あり
- ・委託料は自治体によってかなりバラつきがあるが年間約200～1000万円／1校

6 武蔵野市・近隣市民間事業者

1 コナミスポーツクラブ ×	三鷹駅北口。警察署の隣。プールは8階にあるが、エレベーターは1機のみ。1学年100人単位の移動は困難。
2 メガロス三鷹 ×	三鷹駅北口。武蔵野タワーズ内。死亡事故発生を受けグループ全体で学校プール委託撤退。
3 藤村水泳教室プール ×	吉祥寺東急百貨店裏。藤村女子校舎建て替えに伴い、プールは令和8年3月閉鎖。プールは建て替えしない。
4 N A S 吉祥寺	吉祥寺駅南口徒歩5分。三小から700m。本宿から1.2km。多摩市で実績あり。プールの空き時間が少ない。
5 メガロス吉祥寺 ×	プール4コース（学校プールは6コースのため、やや狭い）。死亡事故発生を受けグループ全体で学校プール委託撤退。
6 ディグスイム	武蔵境駅南口。境南小から350m。二小から1.2km。地域密着型企业（R6にミーズクラブから名称変更）。

【近隣市民間プール】

- ※A&A 西東京スポーツセンター：6コース幼稚園などがすでに利用。現時点での空きは週2～3枠。西東京市の学校を優先したい。やるなら年間通して利用されたい。△
- ※イトマン東伏見：6コース 現状空き枠は木曜日の13時～15時のみ→×
- ※ルネサンス東伏見：5コース 80名程度。休刊日の金曜日に受け入れは可能。△
- ※レアレアオーラルスパ（三鷹市井口）：4コース→コース不足
- ※アクラブ三鷹（三鷹市牟礼）：4コース→コース不足